



# 凌雲台

龍野小学校 学校便り

令和2年1月29日  
文責：校長 江上 知男



## 持久走大会を開催しました！

1月29日(水)は校内持久走大会でした。直前は暴風が吹き荒れた日もありましたが、幸いにも天候に恵まれ、予定どおり実施できたことに感謝します。

さて、持久走は、小学校体育(高学年)では「動きを持続する能力を高める運動」として取り組んでいます。子どもたちの中には「きれい」「苦手」という人が少なくありません。やっぱり「きつい」ですね。

それでは、なぜ持久走に取り組むのでしょうか。

- ①健康に良いから…持久走は「有酸素運動」なので、血液中に余っている糖分や脂肪を酸素を使って消費します。また、生きるのに大切な心肺機能を強くします。年齢に応じた走り方ができます。
- ②目標を設定しやすいから…持久走を評価するものとして「タイム」があります。もちろん、友達と比べることもありますが、自己記録の更新を目指して達成感を味わうことに大きな意味があります。
- ③計画性や精神力を育てるから…持久走は短距離走と違って、ペース配分が重要です。完走するための計画・実行が試されます。また、自己記録の更新や完走する目的のために、多少きつくても途中で投げ出さない精神力が必要になります。この力は、生きていくために必要だと考えます。

大人になって長距離走やマラソンに「はまる」人が多いのは、このことが理解されるからだと考えます。ケガや体調不良で残念ながら走ることができない人もいましたが、子どもたちは全力を尽くしていました。子どもたちが頑張ることができたのは、保護者や地域の皆さまによる応援のおかげです。また、安全確保のために要所に立っていただきました地域ボランティアの皆さま、心から感謝申し上げます。

**熊本県人権子ども集会に参加して** 1月19日(日)に熊本市の桜町に新設された熊本城ホールで開催された人権子ども集会に、休日にもかかわらず5年生の3人が龍野小の代表として参加してくれました。参加した後に書いてくれた3人の日記(江上要約)を紹介します。

**上田あゆ:**スリーピース委員会の人の発表が心に残った。「戦争は人の命を傷つける一番ひどい差別」というのに、私も「そうだなあ」と思った。この前、ニュースでどちらの国も民間人を攻撃し、どちらの国の人も「ひどい」と言い合っているのを見た。少し重なっているなと思った。

**菊地珀亜人:**心に残ったのは、車椅子に乗った3人の中学生の話。車椅子に乗っていることで、特別感があつたり嫌な目で見られたりすること。その時に考えたのは「相手のことを考える」ということ。自分は、車椅子に乗ってるからって他の人と比べて「〇〇が不自由だねかわいそう」などと特別扱っていることに気づいた。「他の人と違う扱いをしないで同じように見て欲しい」と話されたことが心に残った。

**本田結羽:**心に残ったのは「他人と意見を合わせずに自分の考えを持つ」「自分から話しかけることは、自分のことを知ってもらえるチャンス」という二つの言葉。どちらもとても意味が込められていて心に残った。

子どもたちの文章を読んで、「子どもたちの感性はすごいなあ」と思います。日本の未来は明るい！です。

**薬物乱用防止教室」実施** 1月17日(金)に、御船警察署の佐野さんをお招きして実施しました。薬物の基礎的な情報や「薬物を使ってしまった普通の高校生の顛末」をドラマ形式のDVDで見せてもらいました。そのドラマを見て「薬物はこんな身近にあり、しかも止めるのが難しいのか!」と実感しました。本当に怖かったです。子どもたちは次のような感想を持ちました。「使いたくないと言っていた人が一度使うと止められないのが怖かった」「自分が薬物を勧められても絶対に断りたい」「薬物乱用がどれだけ家族や周りの人に迷惑をかけるかわかった」「SNSの情報を『正しい』と信じ込まないように気を付けたい」

